

令和6年7月吉日

2年部保護者各位



大分大学教育学部附属中学校

2年部学年委員会

P T A 学年通信No.2

『 精励恪勤 』

～ 励み努めて高めあう ～

保護者の皆様には、日ごろから PTA 活動にご協力いただき、ありがとうございます。

さて、先日の学年 PTA において行った保護者懇談会で、「子どもに対する効果的な声掛け」というテーマのもと、保護者の皆様にご意見をお寄せいただきました。概要を簡単にまとめましたので、ご紹介いたします。

<よく使う言い回しや心掛けていること>

- 必ずあいさつ、送り出しの言葉かける（前日どんなに喧嘩しても）
- 「～する時間だよ」と行動を促す、「～してみたら」と提案
- してくれたことに対して喜んで褒める、感謝を直接伝える
- 些細なことでも好ましい行動があれば「ありがとう」と伝える
- 質問的問いかけで会話を広げる（今日は何があった？今日の予定は？等）
- 否定しない（助言する）、言ったことに対して同意する（頭ごなしに言わない）、見守る姿勢で口出しは控えめに
- 声をかける前に一呼吸待ってみる
- 早めの行動を促したいとき、早めの時間を伝える（時計をずらす）、起床時間を本人に決めさせる
- 良い結果が出たときは、その過程を褒める

<「これは対応を誤った」という出来事や言い方>

- 話しかけるタイミングの違い、聞きすぎは答えてくれない
- 外で話しかけるのを嫌がる
- 「大丈夫？」「終わった？」「勉強したの？」等の確認の言葉
- タブレットやスマホの渡し方、使い方のルール決め（あやふやなまま）
- 決めつけて問い詰める、子どもの意見や言い分を聞いていない（実はしっかりとした意見を持っていたのに）、頭から否定してしまう
- 「～を捨てるよ！」「勉強しなさい」と頭ごなしに叱る、命令口調
- 売り言葉に買い言葉で反応してしまう
- 悪い面ばかり指摘してしまう（テストの結果など）
- 親の言い分を一方向的に畳みかけてしまう
- 本人を信じすぎ（どこまで信頼して自主性に任せられるのか）

＜今、子どもとの関係で困っていること＞

- 動かない（言い返す、いや～な顔をする）、朝起きない、同じことを注意してもなおらない・行動を変えない
- 家族＜友達、先生、父親との関係（特に女の子）
- 学校での出来事や自分のことを話してくれない、共通の話題がない、内緒ごとが増える
- いわゆる反抗期、思春期特有の反応、素直さゼロ、謝らない
- 会話にならない・続かない、すねる、聞こえないフリ、スルー
- 大人になっていく子どもに親の方が対応できていない
- ケータイ、スマホを使うタイミングの指導（子ども同士でのLINE やゲーム）
- 話しながらスマホを触る、ゲームをしている（親の話を聞いていない）
- いつも「今しようと思ってた」、ああ言えばこう言う、こちらの話に被せて言い張る
- 提出物やプリント、弁当箱等を出してこない

いかがでしたか？

「そうそう、うちも！」という共感や、「この働きかけ、いいかも！」という発見がありましたでしょうか。

大人になろうとする多感な時期に、保護者や子ども自身のもどかしい気持ちが垣間見える貴重なご意見の数々。参考としていただければ幸いです。

なお、最後になりましたが、懇談会にご参加いただきました保護者の皆様、当日はお暑い中、ご協力いただき誠にありがとうございました。